

「逃げ遅れゼロ」を目指し、大規模氾濫への備えを促進！

【令和元年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（京都）を開催】

～水防災意識社会の再構築に向けた取組の継続的なフォローアップと一層の推進～



「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、各市町から地域特性に応じた取り組み事例を発表して頂き、取組について協議会で共有しました。

また、今年1月に改定された「緊急行動計画」を踏まえ、取組方針を改訂しました。

各関係機関から発表された主な取組内容

○ハザードマップの作成・周知

- ・想定最大規模降雨時の洪水浸水想定区域図を反映した水害ハザードマップの作成と住民への周知

○まるごとまちごとハザードマップの整備・拡充

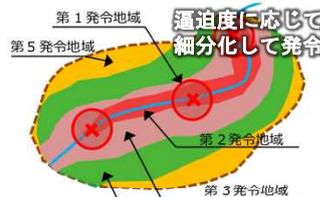
- ・学校等への、想定浸水深の表示板の設置

○適切な避難行動の実現に向けた仕組みの整備

- ・避難勧告等の発令基準（地域・段階）の改善

○水防体制の強化

- ・防災パトロールによる危険箇所の点検・確認
- ・自治体職員、消防団等の協働による水防訓練の実施



意見交換「水害による人的被害ゼロの実現に向けて」

京都大学防災研究所 竹之内健介特定准教授より「地域社会における防災スイッチを考える」題してご講演を頂き、さらなる減災に向けた意見交換を行いました。



本協議会は水防法に位置付けられる大規模氾濫減災対策協議会として、水防災意識社会の再構築に向け取組を一層推進していきます。

◆開催概要

日 時：令和元年7月17日（水）10：00～11：40
場 所：京都烏丸コンベンションホール 大ホール
参加者：26機関から52名が出席

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

